

上田高等学校
関西同窓会報

第55号
2022年(令和4年)
7月17日(日曜日)
編集発行
上田高等学校関西同窓会

9月3日(土)に第32回総会・懇親会

上田高校関西同窓会の第32回総会・懇親会は、令和4年9月3日(土)、新大阪の大阪コロナホテルにおいてハイブリッド方式で開催されます。今年の講演会は、聖路加国際病院副院長の小宮山伸之先生にお話いただきます。

《講演会》 日本の医療の現状と今後について

《講師》 聖路加国際病院副院長 小宮山 伸之先生

講師のプロフィール

小宮山 伸之 こみやま のぶゆき

上田高等学校74期卒業、部活：電気班、上田市立第三中学校卒業・高校卒業後、1年間の浪人生活を経て、千葉大学医学部に入学。大学卒業後は、臨床研修終了後、循環器内科学(心臓

と血管の内科学)を専攻。千葉大学医学部附属病院、千葉労災病院、虎の門病院、埼玉医科大学、松戸市立病院などでの勤務を経て、現在、学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 副院長(医療安全担当)、心血管センター長、循環器内科部長、医療法人聖カタリナ病院理事長として勤務しています。

講師のメッセージ

私の40年の医師生活を振り返り、医療のあらゆる領域で大きな進歩がありましたが、一方で繰り返すコロナ・パンデミックで、医療界はほぼ崩壊状態を何度か経験しました。人生100年時代の高齢者医療、都市部と地域の医療較差、終末期医療、AIやDXの応用による未来など、いくつかの観点で日本の医療の現状と今後について考えてみたいと思います。

..... ◆第30回総会・懇親会案内◆

【とき】2022年9月3日(土)

受付開始 10:00

定期総会 10:30~11:00

講演会 11:10~12:10

懇親会 12:30~15:00

【ところ】大阪コロナホテル 大阪市東淀川区

西淡路 1-3-21 tel.06-6323-3151

総会：2階 215 会議室 懇親会：200D 会議室

【開催方法】ハイブリッド方式(総会・講演会

へはリモート参加も可能)

【会費】会員：7,000円 (リモート参加者は懇親会欠席となるため無料)

ご家族：5,000円 初参加会員：5,000円 学生会員：3,000円

【アクセス】JR新大阪駅東口(西淡路方面口)より徒歩2分



総会への申込み方法

総会はハイブリッド方式（①ホテル会場での参加と②リモートでの参加の併用）です。会報発送時に別紙で総会の参加案内を同封しますが、申し込み時に①か②を明記してお申込み下さい。なお、リモート参加者は総会と講演会のみで懇親会は不参加となります。

会場での感染対策について

消毒等ホテルの感染対策に加え、総会ではマスク着用で互いに離れて座って頂き、懇親会では全員に支給予定のフェイスシールドを着用していただくなど、万全を尽くします。

【注意事項】懇親会の設営内容を変更または中止とする場合は、総会・懇親会に参加申込をされた方にメールおよび電話等でその旨を連絡致します。

ご挨拶

会長 竹内俊隆（68期）



皆さんこんにちは。コロナ禍が第7波とのことで収束したとは言えませんが、早く日常生活を取り戻したいものです。しかし、時代環境は急変を告げています。コロナ禍や地球温暖化に伴う酷暑といった自然環境ばかりでなく、今年2月にロシアが隣国ウクライナに軍事侵攻しました。首都キーウにミサイル攻撃をするばかりでなく、戦術核の使用可能性に言及までしました。21世紀になっても国家間の戦争が起こるとは、信じられない思いです。人的被害が最小になるのを祈るばかりですが、長期化の様相があります。自然界も人間社会も、想定外の事象がかなりの頻度で起こる不確実な時代に突入したのかもしれない。時代環境はあわただしく急変していますが、自分たちのできることはしていかなければなりません。わが関西同窓会の総会開催ですが、去年は直前のコロナ感染急拡大で、涙を吞んで遠隔開催にしました。今年こそ、対面でも開催したいと思います。

関東同窓会出席の記

第61回関東同窓会総会が、6月25日（土）に千代田区の如水会館で開催され、対面で出席しました。出席は対面と遠隔の併用で、対面では54期から104期まで80名前後が出席していました。こここのところ、遠隔での出席ばかりでしたので、新鮮な感じを受け、やはり対面は良いなと思いました。講演は74期の小宮山伸之・聖路加国際病院副院長が、日本の医療の現状や今後の見通しについて講演しました。医療も随分進歩しているなどよくわかりました。なお、小宮山氏には、関西でも講演していただく予定です。また、赤松小三郎研究会関連の話もあり、関東同窓会が小三郎の業績顕彰に力を入れていることを再確認しました。会場近くの中華飯店貸し切りで二次会があり、40名近くが参加していました。二次会でも同窓生が一堂に会して、懇親を深めるのは実にいいことだと感じました。

お悔やみ申し上げます

伊藤泰輔氏（49期）2021年10月31日
田中久夫氏（58期）2022年1月22日
大谷永保氏（50期）2022年5月9日

役員会開催

2022年1月22日（土）10:00 リモート
2022年7月9日（土）15:00 大阪市内

会員の刊行物

清水正博氏（67期）
『改訂版 新入社員の常識』（電子書籍）
ディスカバー・トゥエンティワン 1,100円
清水正博氏（67期）
『SDGsとCSRがひらく未来～石田梅岩の心学
でフェアな成長を』晃洋書房 2,640円

上田から全国へ 73期8組のズーム同級会

町田 高（73期）

73期の町田です。関西在住中は関西同窓会の方々に大変お世話になりました。郷里の長野に戻り10年が経過しましたが、まだフルで仕事をしています。コロナ禍により外出や宴会等が制限され始めてから、インターネットを用いた遠隔の業務や授業が活用され、私も関西の旧友とオンラインでの懇親会を何度か開催しておりましたところ、関西同窓会がオンラインで開催されたというのを聞き、同級生の武舎君(文化委員長)と相談し、クラスの仲間とオンラインで懇親会をやってみようという話になりました。

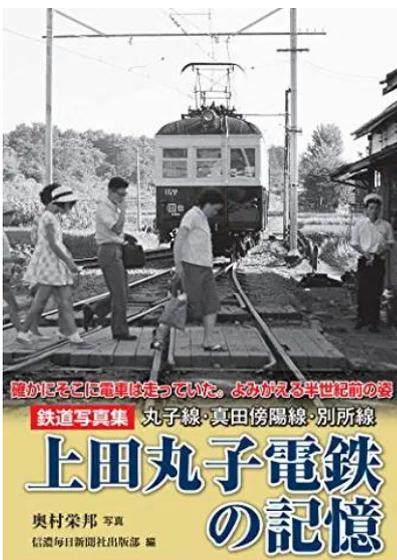
そこで昨年春、まずは近い仲間4人でズームでのオンライン会を試すこととなりましたが、アンドロイドスマホでは特有の設定方法があることなど色々苦労しました。この事前の試行は本番のオンライン会のツール設定に大変役立ちました。

そして昨年秋に、LINE グループを通じて交流していた同級生を中心にクラス会開催の案内をした所、小野先生(塩尻在住)、土屋陽一上田市長をはじめ10名の参加が得られました。土屋市長は亀齢酒の話題を持ち寄り、大いに盛り上がりました。県内在住者に加え、東京、神奈川、名古屋、奈良、更にはイタリア・ミラノで活躍している同級生も参加し、正に地球規模のクラス会となりました。通常では集まりにくい遠方のメンバーが簡単に参加できるのが、オンライン同級会の最大のメリットでしょう。久しぶりに再会するメンバーもいましたが、皆高校時代に戻ったかのように活気づき大いに盛り上がりました。



話題になった亀齢酒（上田市柳町）

『上田丸子電鉄の記憶』が出版される



かつて長野県の上田小県地域には、上田駅を中心に3方向へ私鉄路線が延びていたが、半世紀前までには相次いで廃止され、現在別所線だけが残っている。

このたび、長野県内を中心に鉄道風景を撮影した奥村榮邦氏の写真を信濃毎日新聞社出版部が編集した『上田丸子電鉄の記憶』が出版された。2,200円。

元校長の内堀繁利氏が新長野県教育長に



内堀繁利氏は上田高等学校校長を2018年3月に定年退職、同4月から県教育委員会事務局高校改革推進役に就任されていましたが、今年3月に逝去した

原山教育長の後をうけ、5月13日付で新教育長に就任しました。

内堀氏から関西同窓会に向けて「皆様には、上田高校の校長時代に、大変お世話になりました。特に、『真田丸』放映の年の総会で、皆で赤シャツを着たことは鮮明に覚えています。この度、図らずも、長野県の教育長に就任しました。課題山積の教育界ですが、引き続き、上田高校及び長野県にご支援を賜れば幸いです」とのメッセージをいただきました。

学びをとめないために

上田高等学校長 北澤 潔



関西同窓会の皆様には、日ごろより本校の教育活動について、ご理解とご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制約のため、本校の教育活動も、なかなか本来の姿に戻ることができない状況です。長野県独自の感染警戒レベルが「レベル5」であった時期が長く（4月20日～5月23日）、この間は、県のガイドラインに基づき、班活動は活動時間2

時間程度などの制限がありました。臨時休業（学級閉鎖や学年閉鎖を含む。）の基準も厳しく、本校のようにクラス単位と講座単位で授業を行っている学校は、陽性判明の2日前に学校での活動歴がある場合は、1人の感染者であっても学年閉鎖という運用がなされていました。この基準も緩和され、感染警戒レベルも下がったため、現在は、感染対策を十分に講じながら、教育活動を行っているところです。マスク着用についても、体育や班活動時は外していますが、東信地区は全体的に、感染対策については大人も含め、慎重であるような気がいたします。

さて、学校にとって大きな出来事としては、6月1日にサントミュージゼで芸術鑑賞が行われましたが、私が本校に赴任して初めて全校生徒が一堂に会しました。約1,000名になりますが、これだけの生徒がいるのか、と少し圧倒されました。学校の体育館では、現在も1学年（320名）規模を超える会議やイベントは実施しておりませんが、仮に感染者がいても、感染が拡大しない対策を十分にとることで、できることは実施することを検討していくことが必要であると思います。

2学年の台湾研修旅行については、3月に中止を決定し、京都・奈良方面への研修旅行に変更しました。何とか実現可能性の高い計画を、ということで早期に行先の変更を決断した次第です。

関西同窓会の皆様には、引き続き本校のこれからの姿に注目していただければと思います。今後ともよろしく願いいたします。

〈進路状況〉 コロナ感染の混乱を乗り越えて

進路指導主事 甲田泰広

日頃、上田高校の教育活動にご理解と温かいご支援をいただきありがとうございます。

この春の卒業生はコロナウイルス感染拡大の中、239名の現役生が4年制大学へ進学しました。今年度は共通テスト2年目であり、全国平均点が過去最低点となる中で、本校生は最後まであきらめず自分の志望に向かって取り組んだ結果だと思えます。

現役生については、国公立大学が180名合格（うち165名が進学）し、その主な内訳は、旧帝大が20名（過年度が5名）、医学科が1名（過年度が3名）となっています。また信州大学は39名（過年度4名）で、昨年に引き続き多くの合格者を出しています。一方、私立大学では、立命館大学が現浪合わせて25名、明治大学が32名となっています。また過年度生の健闘も目立ち、旧帝大が5名の他、東京工業大学（1名）、国立大学医学科（3名）、早慶上智大が（のべ）11名をはじめ、東京理科大学やMARCHなどに多数合格しています。

本校にはWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業をはじめ、地域と結びついた活動、自分が深い関心を持つ分野の探求活動など、さまざまな機会が設けられて

います。これらを活用し、自らのための「学び」を生徒に問いかけながら、社会に貢献できる人材を育成する学校でありたいと思います。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度末・進路状況(合格者数) 3月末現在

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
国立大学	136	27	奈良女子	1		白鷗	1		大正	1		横浜薬科	3	
北見工業		1	神戸		1	群馬医療福祉	2		中央	15	3	金沢医科	2	
北海道	6	1	広島	1		群馬パース	2		津田塾	6	1	金沢工業	5	2
弘前		1	岡山	1		高崎健康福祉	3		東海	6	2	北陸	2	
山形	4		九州		1	埼玉医科	1		玉川	7	1	日本歯科		1
東北	6	3	琉球		1	埼玉工業		1	東京家政	5		新潟医療福祉	2	
茨城	3		公立大学	44	11	城西	1		東京女子	4		長野保健医療	6	
福島		1	高崎経済	5	1	獨協	3	1	東京電機	4	2	佐久	11	
宇都宮	2		前橋工科	3		文教	8	2	東京農業	7	2	松本	3	1
筑波	4	1	埼玉県立	2		東京情報	1		東京理科	11	7	清泉女学院	4	
群馬	2	1	東京都立	6	1	城西国際	1		東洋	24	5	愛知学院	2	
埼玉	2		横浜市立	3		秀明	1		多摩美術	2		中京	4	
千葉	2		群馬県立女子	1		千葉工業	9	1	帝京	2		豊田工業	1	
お茶の水女子	1		宮城		1	青山学院	7	3	東京造形	3		名古屋外国語	3	
電気通信	1		長野	5		桜美林	2	1	東京都市	4		名古屋学芸	2	
東京海洋	3		長野県看護	4		共立女子	1		明治薬科	2		名古屋芸術	1	
東京農工	1		長野県立	3		学習院	9	1	明星	3		日本福祉	1	
東京外国語	1		都留文科	2		跡見学園女子		1	東京薬科	4		京都女子	3	
東京学芸	3		石川県立	1		北里	8		日本	19	6	京都産業	3	2
東京工業		1	富山県立	2	1	杏林	2		日本女子	2		佛教		1
横浜国立	2		福井県立	1	1	慶應義塾	1	3	法政	22	5	武庫川女子	1	
長岡技術科学	1		静岡県立	2		工学院	5	1	武蔵	1		同志社	1	1
新潟	9	2	愛知県立	1		國學院	5		武蔵野美術	8		立命館	12	11
上越教育	1		名古屋市立	1		国士館	2		明治	24	7	大阪産業	2	
富山	8	3	京都府立		1	駒澤	6	2	明治学院	5		龍谷	7	3
金沢	12		京都市立芸術		1	芝浦工業	9	3	立教	10	3	奈良		1
福井	1	2	福知山公立		1	順天堂	7		早稲田	6	6	摂南		1
山梨	5		兵庫県立	1		上智		3	東京経済	1		関西	6	
信州	39	4	大阪公立	1		昭和	1		帝京平成		1	近畿	5	3
静岡	3	1	長岡造形		1	昭和薬科	6	2	東京工科	3		関西学院	1	
愛知教育	1		金沢美術工芸		1	成蹊	2		星薬科	2		岡山理科	1	1
名古屋	3	1	九州歯科		1	成城	3	2	実践女子		1			
名古屋工業	1		私立大学	460	120	専修	13	4	神奈川	7	2			
岐阜	1		北海学園	1		女子美術	1		神奈川工科	2		海外の大学	2	
京都	2		常磐	1		白百合女子		1	武蔵野	4		文科省所管外	1	0
大阪	3		足利工業		1	聖路加国際	2		文京学院	0	1	専門学校等	6	0
大阪教育		1	国際医療福祉	3		大東文化	9	4	関東学院	1		就職	1	0

私は上田高校70期卒です。クラスの同期の友人達の話を知ると、皆さん、ほとんどリタイアしてセカンドライフを楽しんでいるようです。その様な中で私は㈱エーアンドエムという会社を営み、国内外の製鉄所向けのマーキング装置の設計・製作・販売を行っています。製鉄所では色々な製品・中間製品が昼夜365日生産されていますが、それらの製品に管理番号等をマーキングする装置です。一口にマーキング装置と言っても相手は900～1000℃のスラブやホットコイルから厚板・ブルーム・ビーム・冷延コイル等々、色々と異なる部材が対象ですので一品一様の製品と成ります。国内メインですが、韓国・中国・台湾・アメリカ・インド・トルコなどに輸出もしています。



上2枚は白色マーキングした製品。
下はマーキング装置。

仕事の履歴

40数年前に私が最初に勤めた会社は、当時出始めていたZ80や8085といったマイコンチップを組み込んだ制御装置を製作していました。そこでハードとソフトを学び、薬の梱包装置など色々と手掛けました。その後誘われてアメリカが本社の刻印機メーカーに勤務し、専用の制御ボードを作成したりしました。初めてアメリカへ行き、陸続きの国境を越えてメキシコに入った時に感じた国力の差にビックリしたのを思い出します。その後、知人から新しい機械の電気部門をみてくれないかと誘いがあり転社しました。そこで手掛けたのがマーキング装置です。

会社設立の経緯

このようにして色々なマーキング装置を製作・納入していたのですが、さかのぼる事20数年前、年末まで韓国で装置の試運転をして正月に一時帰国していた時、全社員が呼び出され、いきなり会社倒産を告げられました。あまりに突然の事なので唖然としたのを覚えています。折からの鉄鋼不況で主力の鉄鋼関連製品の受注減と畑違いの新規分野への大幅投資が裏目に出た結果のようでした。

どうなるのかなあと思っていると、管財人の弁護士の先生から仕掛中の韓国と中国向けの案件の完成出荷を手伝って下さいと依頼がありました。そのような経緯から管財人の先生からユーザーさんも困るでしょうから、この部門で起業してはどうかと提案されました。勿論利権・資料を含めて買い取りしなければいけません。そこでこの装置に関連した仲間と資金繰りして会社を立上げ、取引先の協力も頂いて現在に至ります。他の部門も同様に起業しましたが、いずれもダメでした。

これから

昨今はコロナウイルスが蔓延している事から工事が延期となったり、半導体不足の影響があったりと厳しい状況が続きますが、乗り切って次世代の若い人にバトンタッチ出来る様にもう少し頑張るつもりです。北海道から九州の小島まで、個性豊かな温泉を巡るのが趣味なのですが、社業を離れてのんびりと入湯できるのは、しばしお預けですね。

武五百建命 (たけいほたてのみこと)

48期 関口 貞雄

全長 100mの巨大古墳 森將軍塚

第10代崇神天皇の時代に初代科野国造・武五百建命は、洲羽国創始者・建御名方富命(たけみなかたとみのみこと)の孫娘を娶ったとの伝承があり、科野国造家と洲羽国造家の間では縁組がその後も行われたと伝えられる。両家間で生まれた男子が両方の国造を兼任した時期もあった。大化の改新(645)の律令体制発足により科野国は洲羽国を含めて一つの国となり、木曾は含まれなかったが現在の長野県の原型がほぼ固まった。

科野大宮社



上田市常入の科野大宮社は武五百建命が科野国鎮護のために創建したと社伝は伝えている。

従って後々ま

で科野国造が参拝する総社として崇められた。主祭神は大己貴命(大国主命)と子の事代主命で共に出雲の神である。

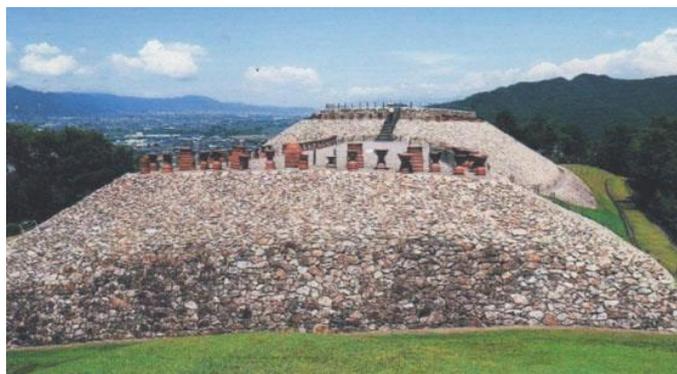
大和朝廷系の武五百建命が敢えて洲羽国の源である出雲の神を祀ったのは、科野国全体の鎮護を祈願したからであろう。

二子塚古墳



上田市北部の新田地区に大星神社と隣接する二子塚古墳は武五百建命の墓と伝えられている。国府のあったと伝承される神科台地からは程近く、塚の頂上には命を祀る二子神社がある。最近の発掘調査により現存の二子塚が造成されたのは6

世紀前半であることが新たに判った。すると被葬者・武五百建命は4世紀前半の人なので、年代が矛盾することになる。この謎は次項の森將軍塚古墳と関連して解けて行くことになる。



森將軍塚は千曲市大穴山にある前方後円墳。全長100mの巨大古墳で、4世紀中頃に造成された。これ程大規模な古墳は一地方としては珍しく、被葬品からも大和朝廷とのつながりが判り、古墳造成技術も大和の影響が強く認められる。到底一地方の豪族の力では造成出来ない人力、財力を必要としたので、初代科野国造・武五百建命の古墳ではないかとの説が有力である。そこで上田市の二子塚古墳との関係が問題となってくる。

二子塚古墳と森將軍塚の関係

神科台地の国府で逝去した武五百建命は直ちに双子塚の場所に埋葬され、小さな古墳が造られた。しかし初代国造の権威を示したい大和朝廷の意図により千曲市の森將軍塚が4世紀中頃に造成され、二子塚より祭神が移されたものと推定される。その時地元民により隣接の地に大星神社が建てられ、武五百建命は地元にも残った。その結果二子塚の元の小さな古墳は祭神不在のまま放置されたが、150年程後の6世紀前半に地元民により中規模の塚に造り変えられて武五百建命の墓としたのではないかと推定される。10世紀に大星神社が諏訪大社の祭神を勧請した時、武五百建命は元の塚に戻り、塚上に二子神社が創られたと考えられる。

千曲市と長野市には埴科古墳群と呼ばれる古墳が数多く存在している。造成された年代が森將軍塚古墳より少し後の4世紀末—5世紀、6世紀初頭なので、初代科野国造に続く代々の国造またはその一族の墓と思われる。

<文化サロン>

クリスマスについて考える

12月25日はイエス・キリストの降誕日とされ、毎年12月に入るとキリスト教国のみならず多くの国でクリスマスのイベントが開催されています。

しかし福音書にはイエス・キリストの降誕日について特定できる記載はなく、後世キリスト教のヨーロッパへの布教が進む中で、何らかの理由によりこの日がキリスト降誕日と定められたと想像されます。

今回の文化サロンでは様々な観点からクリスマスについて考察するとともに、関連する美術作品や海外のクリスマス・マーケットの光景などをご紹介します。



仏アルザス・コルマルのクリスマスマーケット

<テーマ>

- (1) なぜ12月25日がクリスマスと定められたのか？
- (2) 欧州のクリスマスの文化・風習
- (3) 日本のクリスマス
- (4) クリスマスに関連する美術作品
- (5) ドイツを中心とした欧州諸国のクリスマス・マーケット

【日時】 平成4年11月12日(土) 午後1時～4時

【場所】 ホテル・アウイーナ大阪 207号室

〒543-0031 大阪市天王寺区石ヶ辻町 19-12

<アクセス> 大阪上本町駅から徒歩3分・地下鉄谷町9丁目駅から徒歩8分

【講師】 武舎 一夫氏(文化委員長 73期)

【会費】 1,000円

【申込先】 〒635-0013 奈良県大和高田市昭和町 8-11-226 武舎 一夫

email: pretrejean@nifty.com TEL:090-9851-5778 (SMS可)

【申込期限】

10月末日までにお申し込みください。

<会場案内図>

ホテル・アウイーナ大阪

<アクセス> 大阪上本町駅の13番出口から近鉄百貨店内フロアを通り抜け、14番出口を出て南へ徒歩3分。

